



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第204号 (平成 31 年 3 月 25 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから> 平成 29 年度の公共建築物の木造率について
 - 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(145)
 - 3 <森林・林業白書から> 「里垣小学校遊々の森」活用の取組
 - 4 <樹をとりまくはなし>(25) ハリギリとサムゲダン
 - 5 <イベント情報>
 - ◆森のやすみじかん～森の中で整体師から学ぶ！身体のはぐし方～
 - ◆北信リンゴの里 田畑の楽校 2019
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》

《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》

一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



1 <林野庁プレスリリースから> 平成 29 年度の公共建築物の木造率について

平成 29 年度に着工された公共建築物の木造率(床面積ベース)について、建築着工統計調査(国土交通省)のデータを元に試算しました。

概要

平成 29 年度に着工された公共建築物の木造率(床面積ベース)は、13.4%となりました(平成 28 年度 11.7%)。建築主別の木造率を見ると、都道府県、市町村、民間と個人で上昇(都道府県 3.0%→3.7%、市町村 8.7%→9.1%、民間と個人 16.4%→19.6%)、国は変化無しとなりました(1.9%)。

また、低層(3 階建て以下)の公共建築物については、木造率が 27.2%となりました(平成 28 年度 26.4%)。低層の公共建築物について、建築主別の木造率を見ると、都道府県、市町村、民間と個人で上昇する一方(都道府県 10.3%→10.9%、市町村 18.4%→19.2%、民間と個人 31.3%→33.3%)、国は下落となりました(14.2%→6.4%)。(資料 1)

さらに、都道府県別木造率は、公共建築物全体では秋田県が 1 位(50.5%)となり、34 県で上昇、13 県で下落となりました。また、低層公共建築物でも秋田県が 1 位(59.2%)となり、28 県で上昇、19 県で下落となりました。

詳細は、次の URL の WEB をご覧ください

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/190314.html>

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(145)

北海道名寄市郊外にある小学校の活動です。3月に入り春の気配を感じてきました。今日は雪の神社山の観察です。低学年はカンジキ、中高学年はスノーシューを履いて森に入ります。夏はうっそうとした神社山ですが、雪の季節はスカスカ！木々の様子が良くわかります。「シラカバ綺麗だね！」夕日に照らされるシラカバの木肌を見て感動しています。「ほら、木の根元を見てごらん？丸く雪が解けているね！どうしてかな？」この質問に一斉に答えます。「木が暖かいから」「木から水を出しているから」「動物が隠れているから」……この活動を始めて丸2年、子どもたちは自然から受けるメッセージを受け止めてきています。「そうだね！よく気がついたね！冬の森は、木の幹に日が当たりやすいから木が暖かくなるんだね！そして、春に葉を広げる準備で水をたくさん吸い上げているんだね！もしかしたらエゾユキウサギが隠れているかもしれないね！」子どもたちの関心は森の様子から、森の生き物の様子に広がっていきました。あと少しで雪解け！春の植物が一斉に芽吹きます！

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から> 「里垣小学校遊々の森」活用の取組

関東森林管理局山梨森林管理事務所(山梨県甲府市)では、平成17(2005)年3月に、同市内の国有林において地元の市立里垣小学校と「遊々の森」(7.20ha)の協定を締結し、甲府市も加わった三者合同で学校林活動推進委員会を立ち上げ、以降10年以上にわたり、年ごとに複数回、「遊々の森」を活用した森林環境教育活動に取り組んできている。平成29(2017)年度には、小学5年生を対象に、森林インストラクターの指導の下、3回のイベントを開催した。平成29(2017)年6月の森林散策や同10月のネイチャーゲームで森林の働きや動植物について学び、同11月には間伐体験も行った。

(平成29年度森林・林業白書 事例から)

4 <樹をとりまくはなし>(25) ハリギリとサムゲタン

韓国にて講座が終わって、スタッフに連れられ、人工的に作った大規模な庭を見学した。行ってみたら庭というよりも山で、ケーブルカーでも登れ、園路はバリアフリーになっている。川も流れていて、水場を見つけると途端に韓国スタッフは靴を脱いで入っていく。「韓国人にとってこういう自然の水場はたまらない場所なんです。」だそうで、足を拭くタオルがあるかどうかも考えず水に入っていく。本当に好きみたいだ。一緒にちゃぶちゃぶ入り、写真を撮った。

歩いていると、ハリギリが結構生えている。「韓国にもハリギリあるんだー」と言ったら、韓国スタッフは「ハリギリうちにも植えていて、枝をサムゲタンに使うんですよ。枝を切って鶏肉と一緒に煮て、臭み消しに使います。」日本ではハリギリを知っている人はあま

